

櫻井 純

Sakurai Jun

肢体不自由



■ 経歴 & 活動内容

1987年、兵庫県生まれ。26歳で10万人に1人程度の割合で発病する慢性炎症性脱髄性多発神経炎と診断される。治療で長期間の入院生活を余儀なくされるため、務めていた会社を退職。一般就労が難しい人の社会参加に強い思いを持ち、難病・障害のある当事者が運営する旅行会社を起業。29歳でシャルコー・マリー・トゥース病の診断も受ける。重複障害による感覚の低下と痺れによる激しい痛みがあり、現在も年間約120日は入院やリハビリを続けている。移動は杖と車いすを使い分けながら、バリアフリー調査や講演活動を実施している。

ユニバーサルマナー検定とは？

高齢者や障害者への適切なサポートやコミュニケーション方法を学ぶ検定です。全人口の内、28%が高齢者、7%が障害者という時代だからこそ、多様な方への向き合い方をマナーとして身に付けてほしい。そんな思いから生まれたのがユニバーサルマナー検定です。

3級カリキュラム

ユニバーサルマナーを初めて学び、一步を踏み出してみたい入門者向けの資格です。事前の勉強は必要なく、講義と演習問題に取り組むことで認定となります。

▼ 講義75分

- 「障害とは何か」「優しいおもてなしとは何か」など、基本的な知識から基礎となる考え方を通して、ユニバーサルマナーを身につけます。



▼ 演習問題45分

- グループワークで演習問題に取り組みます。お互いの意見を共有することで、より理解・認識が広がります。



合計2時間

受講者全員認定

2級カリキュラム

講義では3級よりもさらに広く実践的な知識を、実技研修では具体的なサポート方法を学びます。最後に試験を受け、70点以上の取得で認定となります。

▼ 講義70分

- 3級よりも、さらに広く実践的な知識を学びます。身体障害に加え、知的障害や精神障害についても理解を深めます。



▼ 実技研修150分

- 車いす使用者・視覚障害者・聴覚障害者・高齢者への適切なサポートやお声がけの方法を、実践を通して学びます。



▼ 試験30分

- 25問の筆記試験を行います。
- 70点以上で2級認定となります。

合計5時間（休憩含む）

試験合格者のみ認定

*日本ユニバーサルマナー協会では「障害者」と表記しています。「障がい者」と表記すると、視覚障害者が利用するスクリーンリーダー（画面読み上げソフト）では「さわりがいしゃ」と読み上げられてしまう場合があります。当協会では、漢字表記のみにとらわれず、社会に存在する様々な「障害」と向き合っていきます。